

事務連絡  
平成29年3月31日

都道府県消防防災主管部 }  
東京消防庁・各指定都市消防本部 } 御中

消防庁救急企画室

訪日外国人のための「救急車利用ガイド（多言語版）」の活用について

平素より救急行政の推進に御尽力いただき御礼申し上げます。

総務省では、災害発生時に情報が伝わりにくいとされる訪日外国人等への情報伝達手段を検討する場として「情報難民ゼロプロジェクト」を設置し検討を行っているところです。

消防庁としては、訪日外国人に対して「救急車利用ガイド（多言語版）」を作成しました。

貴職におかれましては、下記事項に留意されるとともに、各都道府県にあっては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対してこの旨周知されるようお願いいたします。

## 記

### 1 ガイド作成の背景・目的

訪日外国人が増加傾向にある中、日本での救急車の利用方法等を周知するため、必要な情報を掲載した「救急車利用ガイド（多言語版）」を作成しました。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が夏季に開催されることから、熱中症対策（熱中症の予防、応急手当等）の内容も記載しています。

### 2 ガイドの種類及び掲載内容

#### (1) 種類

中国語（繁・簡）、韓国語、タイ語、フランス語、イタリア語の6言語を新たに作成しました。

また、平成27年度に作成した英語版についても、日本語を併記に改変しています。

## (2) 掲載内容

- ・救急車の利用方法、119番通報時に通信指令員に伝えるべきこと
- ・すぐに119番通報するべき重大な病気やけがについて
- ・救急車を利用する際のポイント
- ・熱中症予防対策のための熱中症予防のポイント、応急手当等

## 3 想定している活用方法

都道府県及び各消防本部、その他関係各機関（観光案内所や宿泊施設）等での配布、各種広報媒体へ積極的にリンクさせる等、広く周知を図ってください。

## 4 ガイドの特徴

(1) 外国人観光客などが、急なけがや病気になった際の救急車利用のポイントなどを簡単にまとめています。また、高温多湿の環境に慣れてない方のために、熱中症予防のポイントについても盛り込んでいます。

(2) PDF版（A4版・三つ折版）は各消防本部の実情に応じて変更が可能です。変更する際は消防庁ホームページに掲載している留意事項を確認していただきますようお願いいたします。※著作権等は消防庁ホームページ参照

## 5 掲載場所

- ・消防庁ホームページ（救急車利用ガイド）

<http://www.fdma.go.jp/html/life/index.html>

- ・情報難民ゼロプロジェクト

[http://www.soumu.go.jp/menu\\_seisaku/kokumin/jyohonanminzero/index.html](http://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/kokumin/jyohonanminzero/index.html)

問い合わせ先 消防庁救急企画室 森川専門官、勝森係長、石坂事務官 TEL：03-5253-7529
--